

水素炎燃焼炉の利用に関する研究 (1/2) 水素炎を用いた陶磁器製品の試作 (1/1)		NO. 14
研究機関／担当者	常滑窯業試験場	立木 翔治、榊原 一彦
研究の概要	<p>産業プロセスで用いられる燃料を再生可能エネルギー由来や CO₂ 排出を極力抑えられる水素燃料へ転換する技術の開発は今後の産業基盤を支えるためにも重要となる。本研究では、水素炎燃焼炉を利用して環境負荷を極力抑える手法により陶磁器の試作を試みる。水素炎燃焼炉内では水素の燃焼に伴い発生した高温水蒸気が豊富に存在しており、この高温水蒸気の還元作用を利用する手法を検討する。</p>	